

報告事項カ

平成28年度韓国江原道との教員交流について

平成28年度韓国江原道との教員交流について、別紙のとおり報告します。

平成28年11月21日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成28年度韓国江原道との教員交流について

平成28年11月21日

小 中 学 校 課

高 等 学 校 課

1 趣 旨

鳥取県教育委員会と韓国江原道教育庁との教員交流の一環として、韓国江原道教員団を鳥取県に迎え、教育問題等についての意見交換や学校及び教育関係施設等の訪問を行い、相互理解と友好を深める。

2 訪問期間

平成28年10月16日(日)～10月21日(金) 5泊6日

3 訪問団の構成

団 長 金煥起(キム・ジュンギ) 江原道教育庁教育安全課長

副団長 李萬永(イ・マニョン) 江陵中学校長

李重九(イ・ジュング) 江陵第一高等学校長

団 員 韓国江原道の教師5名、教育庁職員等2名

4 訪問日程

月 日(曜日)	行 程
10月16日(日)	仁川空港発－米子鬼太郎空港着 日韓友好交流公園「風の丘」
10月17日(月)	鳥取県教育委員会教育長表敬訪問 教育委員会との意見交換会 鳥取砂丘、砂の美術館及び山陰海岸ジオパーク散策
10月18日(火)	学校訪問(鳥取商業高等学校) ・学校概要説明、授業見学 ・金載賢教師(進路指導)、尹大燮教師(英語で江原道を紹介)による授業 ・意見交換会「生徒の可能性を伸ばす教育(キャリア教育)について」 あおや和紙工房(紙すき体験)、倉吉白壁土蔵群散策
10月19日(水)	学校訪問(倉吉市立明倫小学校) 校長室で学校職員と給食 ・学校概要説明、歓迎会(全校合唱)、授業見学 ・金省味教師(平和学習)による授業 ・意見交換会「給食・食育について」 むきばんだ史跡公園見学

10月20日(木)	学校訪問(南部町立南部中学校) ・学校概要説明、授業見学 ・崔味良教師(韓国の伝統的な遊び)による授業 ・意見交換会「地域と学校が一体となって進める教育の在り方について」 とっとり花回廊見学
10月21日(金)	水木しげるロード散策 米子鬼太郎空港発-仁川空港着

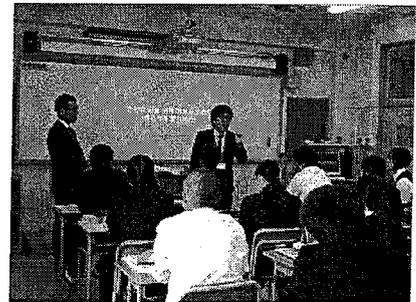
5 学校訪問の様子

(1) 鳥取商業高等学校

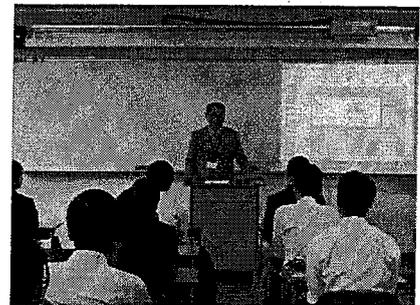
金載賢教師の授業(進路指導)は、自分の夢を叶えるためには今をどう生きていけば良いのか考えさせる授業であった。最後に、将来の自分へ手紙を書く活動があり、生徒は熱心に将来の自分について考えていた。自分の長所を教師に認められ、温かい雰囲気ですべての授業が進められていた。

尹大燮教師の授業(英語で江原道を紹介)は、英語で江原道及び平昌オリンピックについて紹介するものであった。英語で競技名を当てるクイズは、大変盛り上がった。生徒は、平昌オリンピックについても理解を深めていた。

意見交換会では、江原道教員団からは、「鳥商デパート」についての質問が集中した。鳥取商業高校の特色ある取組に、非常に高い関心を持たれていた。



進路指導の授業

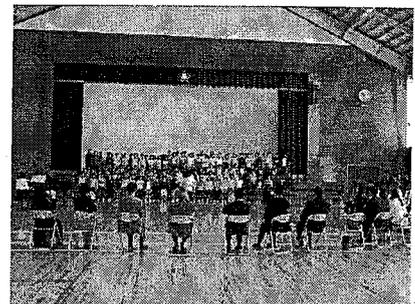


英語で平昌オリンピックについて紹介

(2) 倉吉市立明倫小学校

体育館で、全校合唱の歓迎を受けた。音楽教育に力を入れている学校ということもあり、大変すばらしい合唱で、江原道教員団の方も感激されていた。

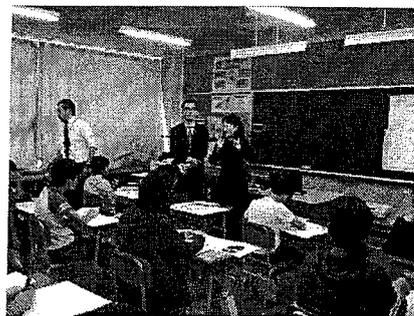
金省味教師による授業(平和学習)は、平和についてのメッセージビデオを韓国と日本の子どもたちで完成させようというものであった。あらかじめ金省味教師の学級の子どもたちを録画した平和へのメッセージの続きを明倫小学校の子どもたちが作成した。児童は、小学生なりに平和をイメージした絵を描き、メッセージを考えていた。



明倫小学校全児童による全校合唱

意見交換会では、倉吉市学校給食センターの鈴木栄養教諭に来ていただき、実際に給食を食べながら、倉吉市の給食について説明を受けた。江原道ではすべて自校で給食を作るので、鳥取県のセンター方式に興味を持たれていた。また、地産地消についても熱心に質問されていた。

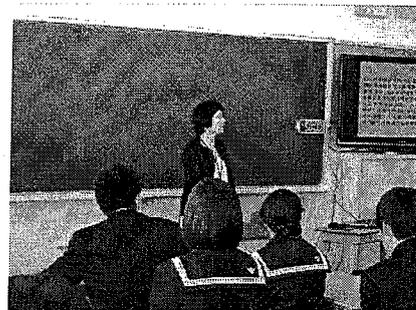
学校を出るとき、多くの職員、児童が拍手で見送ってくださり、大変温かい雰囲気ですべての学校訪問を終えた。



韓国の子どもたちのビデオを見ながら平和学習

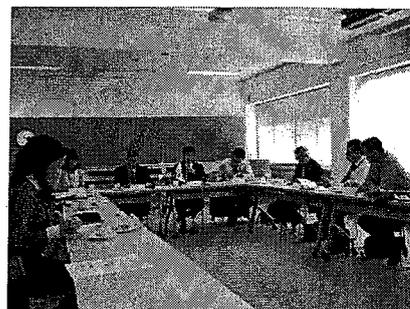
(3) 南部町立南部中学校

崔味良教師による授業（韓国の伝統的な遊び）では、韓国の伝統的な遊び（石投げ）について紹介された。ルール説明では、言葉の壁があり、生徒はなかなかルールを理解できていないようだったが、ゲームを始めるとすぐにルールが分かったようで笑顔で活動していた。上手にできた友達には拍手をするなどして、和やかな雰囲気ですべての活動していた。ゲームが終わると、学級合唱を披露してくれた。南部中学校3年生の素直で温かい生徒の受け答えに、江原道教員団一同は感心されていた。



韓国の伝統的な遊びについて紹介

意見交換会では、学校と地域の連携の在り方について協議した。江原道では、小中だけではなく、同じ地域に住む小中高の児童生徒が集うイベント等があることが紹介された。また、中学を卒業後、高校、大学と別の地域に子どもたちが進学してそのまま出身地に帰ってこないという課題も江原道教員団と共有した。地域と学校が一体となって進める教育の在り方について、活発な意見交換が行われた。



南部中学校での意見交換会